

よみがえれ！
有明訴訟弁護団
(後藤富和)発行
092-512-1636
090-9602-0700

議員長崎民主「ありうる」開門湾早諫

【朝日・3月18日】国営諫早湾干拓事業（長崎県諫早市）の潮受け堤防排水門の開門について、民主党の大久保潔重参院議員（長崎選挙区）は17日、「防災面などの担保が取れるのであれば、開門調査は可能性としてあり得る」と述べ、条件付きで開門調査を容認する考えを示した。民主党長崎県連は、これまで一貫して開門に反対の立場を取ってきた。

開門の要望に訪れた瑞穂漁協（同県雲仙市）の室田和昭副組合長らに対して答えた。大久保氏は、開門の是非を判断するために政府・与党が立ち上げた諫早湾干拓事業検討委員会の長崎代表の一人。

大久保氏は面会終了後、取材に対し、「多くの人が開門調査を新政権に期待している。開門した時のリスクをカバー出来れば、（反対している人も）みんな納得するだろう」と、開門調査に前向きな姿勢を示した。

「政治判断で開門調査も」 諫早検討委 大久保議員

開門アセス関係なく

【毎日・3月19日】国営諫早湾干拓事業（諫早）の開門調査を巡る問

題で、政府・与党の諫早湾干拓事業検討委員会メンバーである民主党の大久保潔重参院議員（長崎選挙区）は18日、毎日新聞の取材に「国が進める環境アセスメントに関係なく、政治主導で開門調査を実施することはあり得る」と述べ、国が防災対策に万全を期すことを条件に、環境アセスの結果にかかわらず開門調査を認める可能性を示唆した。

大久保氏は「防災機能保持は、干拓地周辺に住む諫早市民にとって大切なこと」と前置きしつつ「権交代して諫早への考えが変わらないのはおかしいのではないか。開門への世論が高まり補償問題や防災などへの対策を国が万全に取れるなら、政治判断で（環境アセス結果にかかわらず）開門調査をしてもいいと思う」と語った。大久保氏は、2月に開門賛成に転じた同県雲仙市の瑞穂漁協の漁民と、数年前から話し合いを継続してきた。有明海の異変を調べるためにも、開門調査は必要との認識が芽生えてきたという。民主党長崎県連はこれまで開門反対の立場だったが、県連内では他にも開門に前向きな考えを示す動きが出ている。

鳩山元総務相

判決確定すればよかった

【サガテレビ・3月17日】鳩山邦夫元総務大臣が驚きの発言です。諫早湾干拓問題について鳩山元総務大臣は、「当時、法務大臣として控訴せず、佐賀地裁判決が確定すれば良かったと思う」と述べました。17日、諫早湾干拓の排水門の常時開門を国に求める訴えを今月11日に起こした諫早湾内の瑞穂漁協や小長井漁協の組合員のほか、弁護団などが東京で集会を開きました。会には自民党に離党届を出した鳩山邦夫元総務大臣も出席し、開門調査の必要性を訴えました。（鳩山邦夫元総務相）「自然を理解しない大バカ政策が日本にはいっぱいあった。諫早湾（干拓事業）は象徴。申し訳ないと思うのはあの時、法務大臣としてあくまでも自己の主張を通して控訴しないで、佐賀地裁判決が確定すればよかったとつくづく思う」

佐賀知事 首相に直訴 政府検討委で調査要請

【毎日・3月17日】国営諫早湾干拓事業（諫早）の開門問題について政府・与党3党の考え方をまとめる検討委員会（座長・郡司彰副農相）の第2回会合が16日、国会内であり、出席した古川康・佐賀県知事が中長期の開門調査を求めた。古川知事は有明海の赤潮発生状況などを示した資料を使い「有明海の再生を願う漁業者や県民の願い」と調査の必要性を強調した。終了後、古川知事は鳩山由紀夫首相に面会し、有明海の現状を説明した。古川知事は「歴代の総理に直接お話しできた機会はなく、直接開門を求めた人の声を聞いてもらい、非常に大きな意味がある」と述べた。

諫早 開門調査求め 署名2万6千提出

【読売・3月16日】諫早湾干拓事業の潮受け堤防排水門の開門を目指す『よみがえれ！有明海訴訟』を支援する長崎の会 など3団体が15日、開門調査の実施を求め署名2万6244人分を長崎県に提出した。同会など開門を支持する4団体が呼びかけ、（1）段階的な開門調査を早急に実施する（2）必要な防災・営農対策を行うことを求めている。同会の吉岡賢事務局長は「開門調査をすべきとの声が高まっている。ぜひ、その方向で検討してほしい」と要望。署名簿を受け取った県農林部の鈴木和也理事は「知事に伝える」と応じたが、「県は開門の影響や被害を懸念しており、反対の立場」と改めて繰り返した。中村知事が9日の開門要請行動に続き、この日も対応しなかったことについて、会員からは「知事はなぜ私たちの話を直接聞かないのか」と不満の声が上がっていた。